

CASBEE
新築
(簡易版)

建築物総合環境性能
評価システムによる

評価結果

■使用評価マニュアル:
CASBEE-新築(簡易版)2006年版
■使用評価ソフト:
CASBEE-NCb_2006(v.1.1)

作成日

2006年9月12日

作成者

里城美穂

確認日

2006年9月12日

確認者

湯浅勝也

(1) 建物概要

建物名称	伏見丹波橋計画	敷地面積	6,730 m ²	外図シ
建物用途	集合住宅	建築面積	4,363 m ²	
建設地	京都市伏見区堀詰町550番の2、	延床面積	18,313 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上7F 地下1F	
地域・地区	準工業地域、準防火地域	構造	鉄筋コンクリート造	
竣工年	2007年11月 予定	平均居住人員	710 人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

Q-1 室内環境

スコア(評価点):

SQ1 = 3.5

Q-2 サービス性能

スコア(評価点):

SQ2 = 3.1

Q-3 室外環境 (敷地内)

スコア(評価点):

SQ3 = 2.7

LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR = 3.3

LR-1 エネルギー

スコア(評価点):

SLR1 = 4.2

LR-2 資源・マテリアル

スコア(評価点):

SLR2 = 2.6

LR-3 敷地外環境

スコア(評価点):

SLR3 = 2.8

(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

注1

(2-3) 環境性能効率

BEE

注2

Q-2 サービス性能

Q-1 室内環境

Q-3 室外環境 (敷地内)

LR-1 エネルギー

LR-2 資源・マテリアル

LR-3 敷地外環境

BEE =

建築物の環境品質・性能 Q

建築物の環境負荷 L

=

25 × (SQ - 1)

25 × (5 - SLR)

=

54.8

41.4

= 1.3

(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	10	20	30	40	50 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²						
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²						
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例

備考

Q: Quality

L: Load

LR: Load Reduction

SQ: Score of Q category

SLR: Score of LR category

BEE: Building Environmental Efficiency

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能 (Q) のスコアSQ (Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値) から算定。Lは、環境負荷低減性 (LR) のスコアSLR (LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値) から算定。

注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。